

# The UNIFORM

内閣府認定 公益財団法人  
日本ユニフォームセンター

NUC®

第57巻2号 通巻606

2025 春号 *Spring*

NUC® 公益事業報告

## 2025年大阪・関西万博 日本館

「日本の美意識を纏う」をコンセプトにデザインされた  
アテンダントユニフォーム



写真提供：経済産業省

展示会情報  
万博トピックス  
意識調査報告

セミナー報告  
活動報告  
事務局ニュース

## 2025年大阪・関西万博 日本館

「日本の美意識を纏う」をコンセプトにデザインされた  
アテンダントユニフォーム



写真提供：経済産業省



写真提供：経済産業省



写真提供：経済産業省



写真提供：経済産業省



写真提供：経済産業省



中田 優也

1988年岐阜県出身。2017年に「POSTELEGANT」を設立し、着物の構造とフランスで培った立体感覚を融合したモダンウェアを展開。「TOKYO FASHION AWARD 2019」を受賞。現在は5ブランドを手掛ける。2025年大阪・関西万博で日本館アテンダントのユニフォームをデザインし、伝統と革新を融合した作品で注目を集めている。



写真提供：経済産業省

## 日本らしさと革新の融合

### おもてなし精神をユニフォームで表現

本年4月13日より開幕する大阪・関西万博で日本政府館（日本館）のアテンダントが着用するユニフォームのコンセプトは「日本の美意識を纏う」。デザインを手掛けたのはクリエイティブディレクターの中田優也氏で、ユニフォームには日本の伝統衣装である「着物」の構造を参考にした設計が採用されています。特に、帯状のベルトでサイズを自在に調整できる仕組みが特徴で、年齢や性別を問わず、誰でも快適に着用できる仕様となっています。さらに、着用者が自由にスタイリングできる「余白の概念」を取り入れ、統一感を保ちながらも着る人の個性を引き立てるデザインが実現されました。また、ジャケットやパンツ、帽子といったアイテムを風呂敷でまとめて持ち運べる工夫が施されており、日本文化の象徴的な要素が随所に感じられます。美しさだけでなく機能性も重視されており、着心地の良さ、動きやすさ、暑さ対策といった実用面も十分に配慮されています。これにより、訪れる来館者を適切な案内・誘導を通じておもてなしするとともに、アテンダントが誇りを持つて業務に臨める仕様となっています。伝統的な要素と現代的なアプローチが融合したこのユニフォームは、日本文化と未来志向の調和を象徴するアイテムとして、万博での注目を集めることが期待されています。

## 環境負荷を減らす素材と

### モノマテリアルで効率的リサイクル

環境配慮の観点では植物由来のポリエステル繊維やベットボトルを原料としたリサイクル繊維が使用されていることに加えて、リサイクル工程を簡略化する「モノマテリアル（単一素材）」が採用されています。この設計により、分別の手間を省き、リサイクル時の環境負荷が大幅に削減されます。また、万博終了後はユニフォームを回収し、再商品化する取り組みも検討されています。本ユニフォームの制作は、協賛企業によつて展開、nucで制作の監修を務めさせていただきました。伝統美とサステナビリティが融合したデザインは、日本館のテーマである「いのちといのちのあいだ」や「循環」を象徴し、持続可能な未来への貢献を目指しています。

アイテム	協賛企業名
ジャケット・ベスト・カットソー・パンツ・スカーフ・風呂敷	東レ株式会社
バッグ	帝人フロンティア株式会社
キャップ・ハット	株式会社マキシ
シューズ	株式会社goyemon
足袋・シューズ用留め具	福助株式会社

2025 年大阪・関西万博 日本館 ご担当者さま より

Uniform Users Voice

大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を、ホスト国としてプレゼンテーションする拠点である日本館。「いのちと、いのちの、あいだに」をテーマに、万博会場で出た生ごみを利用したバイオガス発電や、世界に貢献しうる日本の先端的な技術等を活用し、いのちを取り巻く多彩な「循環」を、日本的な要素を織り交ぜつつ、建物と展示で表現します。日本館の体験を通じて、自分自身も循環の一部であり、持続可能な社会の実現のためには一人一人の行動が重要であることを実感していただきたいと願っております。

会期中は、アテンダントスタッフそれぞれの個性が引き出されたユニフォーム姿で、来館される皆さまをおもてなしいたします。



# 展示会情報 Working

# Exhibition-Report

アイトス／空調服／辰野／アルトコーポレーション／ビッグボーン商事／Asahicho／ムーンスター

2025年春夏シーズンの新商品を紹介する展示会が各地で開催されました。ワーキングウェアを展開する各社は猛暑対策を中心に、作業環境の快適性を高める革新的な技術を搭載したウェアやフットウェアを発表。また、オフィス・サービスウェアの分野ではデザイン性と機能性を兼ね備えた新作が発表され、来場者の関心を集めました。

## アイトス

夏季商材の強化と環境対応をアピール  
猛暑対策とサステナブル施策を紹介



アイトスの2025年春夏総合展示会では、春夏シーズンのワーキングウェアをはじめ、猛暑対策用品、作業靴、サービス業向けの男女スーツまで、総合メーカーならではの幅広いラインナップが揃っていました。中でも近年長期化している夏向けウェアの稼働期間にあわせ、販売体制を強化。猛暑対策用品はもちろん、夏の定番人気商品・スクラムテックの生産体制を整え大きく展示で訴えるなど、夏季に向けたアイテムをPRしました。

会場では、同社の環境プロジェクト『Aozora・アイとスマイルプロジェクト』の多面的な取り組みも展示。独自にサステナブルリンクを設定した材料のエコ化のほか、回収と再資源化、カーボンフットプリントの開示、易リサイクル設計、その他環境配慮活動などを実績データを交えて紹介しました。

2050年のカーボンニュートラル社会を見据えたユーザー企業からのリクエストに応える体制を整えるとしています。

## 空調服

猛暑対策の最新技術が進化  
大風量25Vデバイスと防爆対応デバイスで快適作業を実現



(株)空調服は、猛暑対策の最前線を行く最新技術を発表。作業環境の快適性を飛躍的に向上させる製品が注目を集めました。特に、最大電圧25Vの新型デバイスは最大風量毎秒103Lを2時間連続で送り続けることを可能にし、従来の稼働時間制限を大幅に超えました。15V設定にすれば、毎秒60Lの風量で8時間稼働も可能です。カバーやプロペラ部分が脱着可能で、水洗いできる点も魅力的な商品となっています。

また、以前より要望の多かったガソリンスタンドやガス関連施設など防爆エリアにも対応のデバイスが発表され、注目を集めました。さらに、バッテリー不要のサイフォンクールベスト（開発品）が披露されました。このベストは吸水拡散素材を活用した気化熱冷却による持続的な涼しさを実現。胸元のボトルから腰部ユニットへ水を供給する仕組みのため、汗をかきにくい人にも効果的な商品となっています。「空調服」との併用で冷却効果がさらに向上し、過酷な環境下での熱中症対策として期待されます。

## 辰野

静電気対策に特化した新ユニフォーム登場  
「ESD GUARDIAN UNIFORM」、靴もラインナップ追加



辰野の静電気帯電防止ユニフォーム「ESD GUARDIAN UNIFORM」は、半導体デバイスの損傷、精密機器の誤作動、スパークによる可燃物への引火など、トラブルの原因となる静電気の影響を制御します。

生地には日本製・クラレレーディングの導電性繊維（クラカibo®）を採用し「IEC61340 4-9」に対応した高水準レベルの帯電防止性能を備えており、工業洗濯への耐久性、耐摩擦性といった強度も保持。さらには、ストレッチ生地×立裁縫製により、腕を上げても裾が引き上がらないデザインで快適な着心地を実現しています。

生産現場での静電気は靴底と床の摩擦によっても発生することから、ESDシューズもラインナップされました。同社では、製造現場のみならず、倉庫業や運送業などの流通現場においても静電気に対する配慮が必要であると、製品の損傷防止による生産効率の向上と、働く人の安全確保を広く訴えています。

## ←NEXT : Office&amp;Service

## | アルトコーポレーション

綿100%の新作や高機能ウェアが登場  
「TOUGH WORKING」春夏モデルを展示

アルトコーポレーションの「TOUGH WORKING」からは、前年に秋冬用として登場した綿100%のSCシリーズに、春夏物が新たにラインナップ。綿100%ながらも最大15%の高いストレッチ性を活かした、すっきりとしたシルエットと可動性の高さを実現しています。綿100%は溶接時の火花などで溶融しにくく安全性を確保可能。東レのエコディア®×ライトフィックス®を使用したポリエステル/綿混織素材のECシリーズとデザインのベイスを同一としているため、職場や季節に応じた素材選択が可能です。

この他にもIEC規格対応の超制電ユニフォーム、生地全体に半永久的な消臭機能のある高機能コンプレッションインナー、耐久性とともにおしゃれさも重視した普段着感覚ウェアALPHA FORCE TECH PRODUCTの製品など、多くの製品が展示されました。

## | ビッグボーン商事

持続可能な冷却ウェアの新時代  
水冷・放射冷却・冷蔵服で炎天下の作業環境を快適に

ビッグボーン商事では、進化した暑熱対策ウェアが発表されました。水冷式の「アクアウォータイベスト」は第2世代に改良され、通気孔を拡大し電動ファン付きウェアとの組み合わせで気化熱冷却が可能に。バッテリー不要の「AT501」シリーズは水の力で優しく体を冷やす仕様。電動ファン付きウェアのインナーにも適した、猛暑対策の強い味方です。

「SPACECOOL」は放射冷却技術を活用した新素材で、紫外線や赤外線を反射。熱を宇宙空間へ放出しやすい波長の赤外線に変換し、ゼロエネルギーで冷却します。さらに、昨年のヒット商品「冷蔵服4」は2025年モデルとして進化。ヘルチエデバイスと送風ファンを一体化し、3秒で冷却を体感可能。背面の冷却プレートで熱を排出し、長時間快適に使用できます。

これら革新的な冷却技術により、暑熱下の作業をより快適にする選択肢が広がっています。

## | Asahicho

安全性と快適性を両立した最新ワークウェア  
高視認性安全服や軽量シャツ、環境配慮型ウェアが登場

Asahichoは、安全性と快適性を両立するワークウェアを発表。高視認性安全服は空調ファンの配置を背面から横に変更し、運転時の快適性を向上。また、蛍光カラーと再帰性反射材で360度の視認性を確保し、夜間や悪天候時でも安全性を高めます。

超軽量ファブリックシャツは高通気ストレッチ素材「ライトフィックス®」を採用し、約17%の伸長率とドライタッチで快適な着心地を実現します。

さらに、植物由来PETの環境配慮型ウェアやポケットレスデザインのロングセラー商品、薄手の新型難燃防護服などを展示。早稲田大学と共同開発したe・z・up（イージーアップ）は、従来の腕と腰部サポートに加え、ヒザまでカバーし、作業時の負担を軽減します。

視認性向上、軽量素材、環境配慮など作業環境改善の技術が多く紹介され、市場への好影響が期待されます。

## | ムーンスター

「810s」5周年モデルを発表  
専門ノウハウを活かした快適&機能的フットウェア

ムーンスターの展示会では、2025年秋冬モデルが多数揃いました。なかでも「810s（エイトテンス）」は5周年を迎える記念の年。同社が開発した厨房用コックシューズやナースシューズの機能性を継承しつつ、デイリーユース仕様に再構築したシリーズで、ユニフォーム用途にも活用可能です。

例えば、「KITCH キッチエ」は、厨房や食品工場向けキッチンシューズをデイリーユース向けにアレンジ。油や水に濡れた床でも滑りにくいソールや手入れしやすい素材を採用し、従来のキッチンシューズとは異なるデザイン性を備えています。「HOSP ホスプ」は、ナース向けシューズをもとに踏んでも履ける踵のストレッチ素材や低反発インソールを搭載。作業用ゴム長靴をルーツに持つワークブーツ「MARKET MOD」や「マルケティ」など、おしゃれで履き心地のよいフットウェアが並びました。



## Office&Service

チクマ／カーシーカシマ／サーヴォ／ハネクトーン早川／ボンマックス／ボストン商会／セブンユニフォーム

### チクマ

「COLOR ME HAPPY」で彩る新作コレクション  
働く女性のための春夏スタイル



チクマのアルファピア春夏展は「COLOR ME HAPPY」をテーマに、働く女性の毎日を彩る、欲しいが詰まった新作が揃いました。「ALPHA PIER」からは、リラクシエエレガントで、ほどよいトレンド感・ワンランク上のおしゃれポロシャツと、「着る人に優しい」チェック柄の新商品を紹介。「YUKI TORII」では、ビビッドなアイコンカラーのアイテムで、自分らしいスタイル・明るくポジティブな彩りを発信しています。「MARY QUANT」からは3ラインの新作をリリース。モノトーンで構成された「SNAZZY SUMMER STRIPES」ストライプで魅せる、「夏の粹」と「COOL MONOTONE」鮮烈なるモノクロの妙「はクールな夏のブラックでドラマチックな世界観を展開。また、「BRIGHT SUMMER TWEED」サマーツイードの爽やかな感性は、清涼感あるツイード素材と淡色を織り交ぜ、柔らかな空気感を纏うユニフォームに仕上げています。

### カーシーカシマ

「遊び心」をテーマに新作をPR  
カーシーカシマ3ブランドの最新コレクション登場



カーシーカシマでは、BE PLAYFUL「遊び心」をコンセプトに「楽しい」が沢山詰まった空間で「ENJOY」「NOIR」「CAREAN」の3ブランドの新商品を中心にPR。ENJOYでは、「遊び心を、働く私に。」とし、「PLAYFUL CHECK」シリーズから、薄手でも透けにくく・淡色でも安心のジョーゼット素材が採用された新作が目玉を惹きました。アクセサリなしでも華やかなシルバーのボタンも「遊び心」のひとつ。その他、暑さに負けずストレスフリーで着用できる全4シリーズが今夏の新作としてラインナップされています。この他にもホテルやデイリー向けのフォーマルライン・NOIRからは実際のお客様からの声とともに人気商品を展開。CAREANでは耐塩素加工付きのフォーマルデザインシャツ・ポロシャツ、3Dデザインサービス、カーシーカシマの取り組むサステナブルの最新情報など、幅広く紹介されました。

### サーヴォ

「ころもて」新作&多彩なコーデ提案  
環境配慮と快適性を兼ね備えた新ラインアップ



サーヴォの総合展では、「ころもて」で「おもてなし」する「ころもて」シリーズから、ショウアップコートや調理衣などがリリース。和洋折衷のデザインで、幅広い業態・ニーズ向けにアレンジが可能だ。加えて「Basic Coordinate」シリーズとして取り揃えた帽子3型・タイ・エプロン4型のシリーズでは、15色（柄）展開で計120種類と幅広いラインナップ。多彩なコーディネートが可能となっています。これらのアイテムには、「SERVONONOフッ素宣言」に基づき、環境にやさしいフッ素撥水加工が施されています。フッ素系の撥水加工と同クラスの性能を有しているとPRしました。すぐラックを謳うオフィスウェア「GROW」からはグレイスニット・リサイクルニットリユクスなど幅広いニットシリーズ、「FOOD FACTORY」からは色バリエーション豊かな工場白衣、その他にも同社のリサイクルやフェムテック、SDGsへの貢献などが展示されました。

## ハネクトーン早川

「Counter Biz®」の人気商品に新色レッド登場  
華やかさと気品を纏う最新おもてなしウェア



ハネクトーン早川のおもてなし接客ウェア「Counter Biz®」からは、「フェミニン・ビューティー」ラインで人気のカラーブロックデザイン「モダンクラシカル」シリーズのワンピースに、新色のレッドが登場しました。美しいシルエットを華やかなカラーとシックなカラーの組み合わせで印象づけるワンピースがメインスタイルで、レッドの他に洗練のブルー・シックなグレー・上品なベージュの全4色展開。気品ある雰囲気ながらも存在感のあるカラーブロックの効果によって、鮮やかなインパクトを演出できるユニフォームです。同シリーズのジャケットは、ホワイト・ブラック・グレーの3色展開が揃います。この他にも、働く場所を選ばない自由な一着「チュニックスタイル」シリーズや「キャリア・エレガンス」ラインからは素材やカラー、デザインにジャパニーズエッセンスを取り入れた「和こころ」シリーズの第二弾「彩りを纏う」コレクションなどが会場を彩りました。

## ボンマックス

ボンマックス3ブランド、新色&新アイテムを発表  
職場を彩る多彩なユニフォームを提案



ボンマックスは3ブランドからそれぞれ新作をリリース。「BONOFFICE」では「Empower Energy」をテーマに、明るく・ポジティブが連鎖する、ユニフォームを提案。新色のブラウンや襟付きのロングベストが新鮮に映る、上品なサマーサイド・チェックのスタイルを揃えました。ボトムスも新たにワイドパンツを加えて全6型×4色に。「ハイスベック・ポロ」の新商品2種とともに、幅広いコーディネートが叶うアイテムがラインナップされています。「FACE MIX」からは、フォーマルからカジュアルまで自由に着こなせる・リズナブルなスuits2種が登場。洗濯機で丸洗いしたい、というユーザーニーズを叶えた新商品です。その他、ユニセックス和シャツやエプロン類などのアイテムにも新色が多数加わりました。カジュアルウェアの「LIFE MAX」でも程よいエアの「アンスカラー」のウインドブレーカーなど、他社に無い色展開が目を見せました。

## ボストン商会

ボストン商会60周年、新時代のユニフォーム提案  
多様性に応える「マルチタスクスーツ」&特別企画が登場



今年60周年の節目を迎えたボストン商会では「Share the Wonder」をテーマに、機能性と格好良さ・トレンド感を兼ね備えたデザインで、着る人のモチベーションが高まるような新商品を揃えました。中でも同社初となるユニセックス展開を備えたスuitsシリーズ「BONUNIMULTITASKSuits」では、フォーマルなシティホテル/リラクシーなライフスタイルホテル/インバウンド視点も踏まえた和モダンホテルなどの様々なジャンルに合うコーディネート、多様性/ジェンダーレス/別のコーディネートなど、11型のアイテム×4色展開で「いま」らしく、どんなニーズにも応えるラインナップを揃えています。他にもオリジナルプリントを施し着用企業のブランディングを実現する別注アイテムや、和風（わのかぜ）の人気アイテム・前掛けエプロンの新作、アパレル企業URBANRESEARCHとの協業提案などが展示されました。

## セブンユニフォーム

進化するホテル・飲食業界のユニフォーム  
多様なニーズに応える新提案



飲食・サービス業界向けに展開するセブンユニフォームは、大規模展示会「第53回 国際ホテル・レストラン・ショー（HOTEL RES JAPAN）」にてブース出展し、業界関係者へ向けて新商品ほか多種多様なアイテムとコーディネートを紹介しました。ブリスでは、インバウンド対応を含め多様化するお客さまに合わせて「進化を続けるホテルの今」に対応するマルチタスクタイプのホテルユニフォームや、カジュアルと品格あるシルエットが両立する「QT・ユニフォームT・shirt」シリーズ、魅せる「HACCP対応「カラー工場白衣シリーズ」など、今、業界に求められているコーディネート提案。新しい時代に合わせ進化し続ける飲食・サービス業界の求めに応じた「個性的なデザイン」「SDGs」「環境」「HACCP」「機能性」などの必須要件を備え、永くキレイに使える機能・技術を使用したプロ用ユニフォームが揃いました。



# 大阪・関西万博 開催目前 / Topics プラス EXPO2025



2025年4月13日に開幕する「2025年大阪・関西万博」まで、あと10日ほどとなりました。開催に向けて、今回は大阪ヘルスケアパビリオンのユニフォームをご紹介します。

大阪府と大阪시가、大学や企業等とともに産学官一体となって出展する大阪ヘルスケアパビリオンでは、「REBORN」をテーマに、「いのち」や「健康」の観点から、子どもから大人までが楽しみながら、未来に実現を目指す都市生活の姿が体験できます。

来場者を誘導・ご案内するアテンダントのユニフォームは、株式会社高島屋が製作を手掛け、パビリオンの世界観を表現したデザイン。ユニフォームの選考・仕様決定にあたっては、nucも審査員及びアドバイザーの立場からお手伝いさせていただきました。

アテンダントユニフォームは、同パビリオンのテーマ「REBORN」から着想を得た、ファッションデザイナーの小出真人氏によるデザイン。パビリオンロゴのシンボルである卵や大阪を象徴する水のイメージが、曲線的なラインやフォルムで表現されています。また、ユニフォームカラーもパビリオンロゴに合わせ、水や植物、自然との調和を表すグラデーションで彩っています。

アイテムはすべて男女共用で季節ごとの衣替えもありません。会期を通して半袖カットソー・長袖カットソー・ベストを気温や体調、業務の内容等にに合わせて自由に組み合わせることで、着用者が柔軟に自分にとって最適なコンディションで着用できます。

このユニフォームはリサイクルを前提としたサーキュラーデザインのもと作られ、リサイクル時の効率を高めるため、すべてのウェアアイテムでポリエステル素材を採用した「易リサイクル設計」。会期終了後はポリエステル原料に生まれ変わる予定です。

同パビリオンは、『REBORN “人”は生まれ変わる”新たな一歩を踏み出す”』のテーマのもと、オール大阪の知恵とアイデアを結集し、大阪の活力、魅力を世界に発信すべく、今後もさまざまな取り組みを進めていくとしています。



大阪ヘルスケアパビリオン  
公式Webサイト

詳細は  
こちらから



2025osaka-pavilion.jp



## 紡拓会

### 【台湾テキスタイルフェア PANTEXTILE TOKYO 2025】

会 期：2025年5月14日(水)～15日(木)10:00～17:00  
 会 場：ベルサール渋谷ファースト地下1階ホール  
 主 催：中華民国紡織業拓展會（紡拓会）  
 出展企業：53社／61小間

パンテキスタイル東京2025は紡拓会が主催する、台湾の最新テキスタイルを紹介する展示会です。東京でのリアル展の日本の開催は昨年に続き4回目。今展は、会場をベルサール渋谷に移しアパレルメーカーや商社、素材メーカーなどの企業にアピールする構えです。

例年、機能性素材の技術開発力が高い台湾企業が数多く出展しており、サステナブル素材に様々な機能性を付与して提供できるのが強みです。環境意識の高い欧米企業との取引が長いことから「Bluesign®（ブルーサイン）」認証を多く取得しているほか、廃ペットボトルや廃棄漁網、廃棄衣料を使ったりリサイクル素材などをはじめ、バイナッブル繊維やRWS（レスポンシブルウールスタンダード）認証を受けたウール、マニラ麻使用の和紙糸、牡蠣殻をリサイクルポリエステルに練り込んだ素材など、バラエティ豊かな素材が揃う予定です。

今展は日台繊維関連産業間のさらなる深耕を促す機会となり、nucも後援いたします。是非ご注目ください。



## 東京メトロ

### アップサイクルプロジェクト第2弾

#### 制服（技術職用作業服）を活用したアップサイクル商品を販売

東京地下鉄株式会社（東京メトロ）は、役目を終えた技術職用作業服を活用し、新たな価値を創造するアップサイクルプロジェクトを実施し、クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」にて、作業服を再利用したワークキャップの応援購入者を募りました。

東京メトロの技術職用作業服は、2020年4月にリニューアルされましたが、破損や劣化により一定数が廃棄されてきました。そこで、再利用とは異なる形で資源循環を実現するため、アップサイクルの可能性を検討。特に、強度に優れた技術職用作業服に着目し、耐久性の高い製品として再生する試みを進めています。

今回限定250個が販売された商品は、営団地下鉄時代の旧作業帽をモチーフにしたワークキャップです。生地を洗浄・裁断した後、東京メトロの制帽製作を担当する熟練職人によって1点ずつ丁寧に縫製されます。さらに、運輸職用制服のメタルボタンや実際の制服に使用されていたネームタグが取り入れられています。

今回のプロジェクトは、2023年に始まった「東京メトロアップサイクルプロジェクト」の第2弾。第1弾では、引退予定だった丸ノ内線02系の座席シート生地を活用した商品が販売され、

好評につき完売となりました。今回もその流れを引き継ぎ展開されたものです。

同社は、持続可能な社会の実現を目指して「脱炭素・循環型社会の実現」を重要課題に掲げ、今後も廃棄予定の素材を活用したアップサイクル商品の企画を計画。鉄道関連素材に新たな命を吹き込み、地下から街へと活躍の場を広げていく東京メトロの取り組みが注目されます。



1923年の関東大震災から100年にあたる令和5年度は、災害発生時等に対応する職員等が着用するための「災害対策用被服」の実態を把握すべく、地方公共団体、医師会・看護協会等の職能団体、その他公園協会等を対象とした調査を実施しました。

この調査はSDGs関連調査と位置付けており、「11. 住み続けられるまちづくりを」や「13. 気候変動に具体的な対策を」をはじめとした目標達成につなげることを目的のひとつとして取り組みました。回答数は130件、回収率は46.6%となりました。

本誌では調査報告書の要旨をもとに再構成し、全2回にわたり掲載いたします。

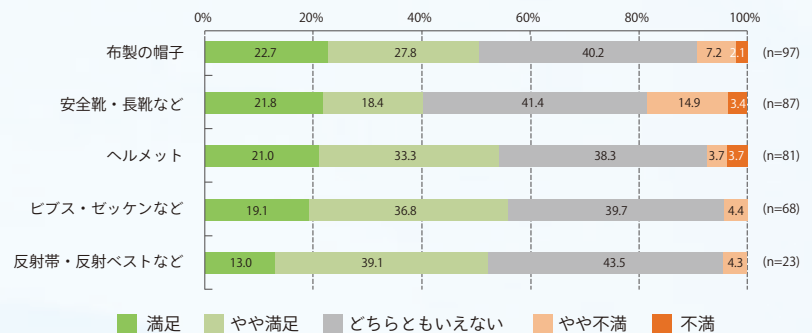
## NUC意識調査レポート

### 自治体等における災害対策用被服の実態(下)

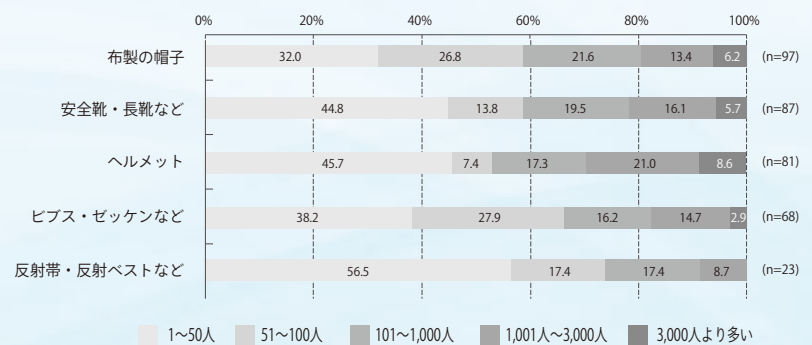
**現在利用している「その他アイテム」に対する満足度**

満足傾向の回答（満足とやや満足の合計）が、布製の帽子、ヘルメット、ビブス・ゼッケン、反射帯・反射ベストなどで半数超。安全靴・長靴では40%を超えるなど、いずれも一定の評価を得ているが、靴類はやや満足度が低い。【図表①】

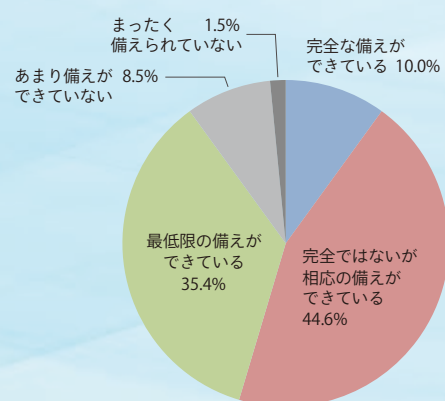
【図表①】



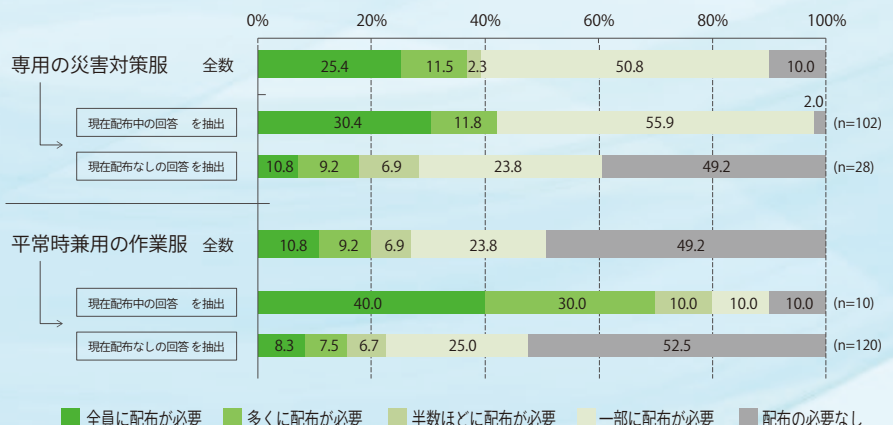
【図表②】



【図表④】



【図表③】





## 調査の目的

nucではこれらの調査結果により、ユニフォームに関わる業界の事業者等、また社員・職員にユニフォーム類を支給する企業や官公庁・団体などが、今後の災害対策用被服の在り方を探るとともに防災意識の向上を図ること、新たな災害対策・防災用ユニフォームの研究開発に繋げ、国民の安全ならびに災害発生時等に対応にあたる方々の職務環境の向上に役立てることを目的としています。

ユニフォームを「つくる側」、「着せる側」双方に対し調査結果の情報を提供することで、よりよいユニフォームの活用のために広く貢献することを目指しています。

## 報告書のご案内

報告書の抜粋版はnucのWEBサイトでも公開していますので、ぜひご覧ください。

報告書全文版（全72ページ）をご希望の場合は、nuc事務局までお問い合わせください。

## 今後の展望

## 今後の災害対策用被服配布の必要性

何らかの災害対策用被服を一定数（全員／半数ほど）に配布する必要があると考える意見は、専用の災害対策用被服では40%弱、平常時兼用では25%強。いずれも現状よりも多くの人員に配布する必要があると認識されている。【図表③】

現在備えている災害対策用被服類の充足度については、全体の約半数が「完全ではないが相応の備えができている」と回答した。【図表④】

「あまり備えができていない」「まったく備えられていない」との回答者に対し、今後の対応も確認したところ、およそ半数の53.8%が「ある」と回答。「ない」理由としては『必要数の精査・予算化が困難』などが寄せられた。

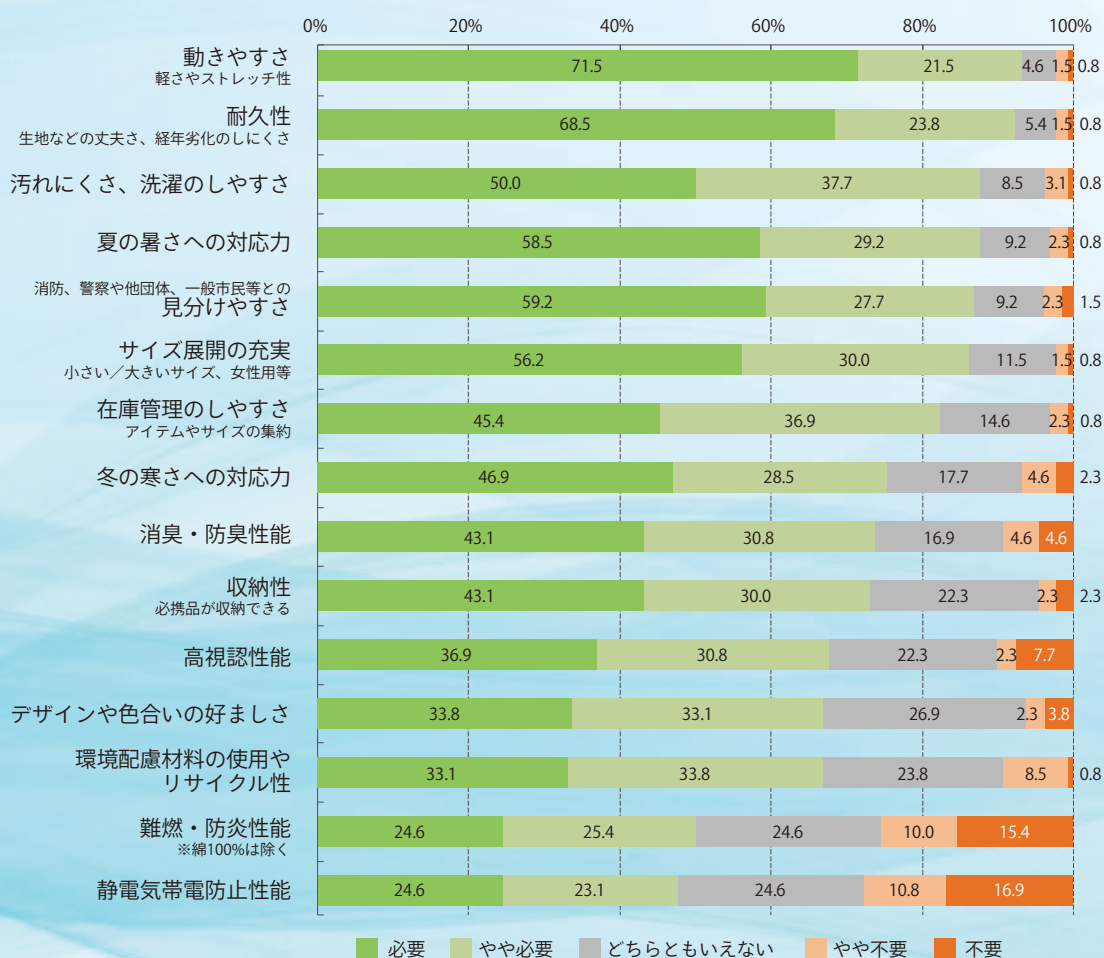
## 今後の災害対策用被服に必要だと思う機能

各機能性は全項目で70%弱超が「必要」や「やや必要」と回答。災害対策用被服に求められる機能は多岐にわたることがわかった。【図表⑤】

「難燃・防災」などの特殊性能に対する必要性よりも、基本的な「動きやすさ」「耐久性」「汚れにくさ」といった機能を筆頭に、季節対応、特に「夏の暑さへの対応力」、外観上の特徴としては消防や警察、他団体や一般市民との「見分けやすさ」また、被服を管理する側としての「在庫管理のしやすさ」に対して「必要である」と思う意見が多く寄せられた。

【図表⑤】

(n=130)



## Theme : RFIDの基礎知識セミナー



TOPPANデジタル株式会社  
事業開発センター カード・IoTソリューション本部 カード・IoT事業開発部

RFID推進チーム 係長 戸田 順子氏

2008年 凸版印刷株式会社（現TOPPAN株式会社）に入社。総合研究所にて半導体パッケージの研究開発に従事した後、生活・産業事業本部にて主に医薬品・トイレタリー製品の包材パッケージ、環境対応機能性包材の新製品開発を担当。  
2022年より現部門にてRFID製品の新事業開発や海外技術の国内導入支援に携わる。製品開発から市場展開まで幅広い視点でRFIDソリューションを推進し、多様な業界への導入支援を行っている。

日本ユニフォームセンター（nuc）は、「RFIDの基礎知識セミナー」と題した令和6年度第4回nucセミナーを2月19日（水）にWEBで開催しました。今回は、TOPPANエッジ株式会社のグループ会社であるTOPPANデジタル株式会社RFID推進チームの戸田順子氏を講師にお招きし、RFID技術の基本から最新の応用事例まで詳しく解説していただきました。RFIDは無線通信を活用し、非接触での一括読み取りが可能のため、物流やアパレル、ユニフォーム管理など幅広い分野で導入が進んでいます。セミナーでは、導入事例を交えながら、業務の効率化やセキュリティ向上への貢献についてご紹介いただきました。

RFIDは無線通信を活用して情報を読み書きし、非接触で個々の物品を識別できる技術です。従来のバーコードやQRコードと比べて環境耐性が高く、複数のアイテムを同時に読み取ることができる点が特長です。セミナーでは、まずRFIDの基本概念について説明があり、次に物流やアパレル業界での活用事例が紹介されました。特にアパレル業界では、大手ブランドが在庫管理や自動決済レジにRFIDを導入し、業務の効率化を進めています。また、物流倉庫では自動搬送ロボットと組み合わせることで、出入庫作業の自動化と精度向上が可能になっています。

ユニフォーム業界でもRFIDの導入が進んでいます。特にクリーニング業界では、洗濯や修繕履歴をタグに記録することで、より精密な管理が可能になっています。また、セキュリティ対策として、盗難や不正転売を防ぐ目的でも活用されています。

セミナーでは、ユニフォーム向けの最新RFIDタグ「E-thread」と「E-Lix」が紹介されました。E-threadは細くて柔らかい形状をしており、衣類に縫い付けて使える洗濯耐性タグです。布地になじみやすく、違和感なく使用できます。E-Lixは、さらに小さく目立ちにくいデザインで、縫い付けや後付けがしやすいタグです。特に耐久性が高く、200回の洗濯にも耐えられる仕様になっています。

RFID導入の主な効果として、業務の効率化、データ活用の拡大、紛失や偽造品の防止が挙げられます。特にアパレル業界では、棚卸作業の時間が大幅に短縮され、従来40時間かかっていた作業が約27倍の効率化を実現、わずか1.5時間で完了する例もありました。さらに、製造から物流、販売までのデータ連携が可能になり、リコール対応の迅速化や製品ライフサイクル管理の精度向上が期待されています。導入当初はコストやシステム構築のハードルがあるものの、一度システムを整えれば長期的なメリットは非常に大きいといえます。

RFID技術の進化とともに、企業の業務効率化やセキュリティ向上に貢献できる機会はますます広がっています。最後に、RFID導入のメリットについてポイントがまとめられ、今後の展開にも注目したいという期待が述べられました。

**RFIDとは**

Radio Frequency Identification  
無線 周波数 認識

- ・電波を用いてタグの情報を読み書き、自動的に個々の物品を識別する技術
- ・非接触でデータ通信を行うため、バーコードを使用した識別システムと比べて汚れなどに強く、離れた場所から複数のものを一括で読み取ることができる
- ・情報をすばやく正確に読み取ることが可能、作業効率化が必要な場面で利用拡大中

**E-thread製品仕様 細くて柔軟**

4mm 140/75 mm

- ・周波数：860 - 960 MHz
- ・通信規格：ISO/IEC 18000-63 TypeC
- ・EPCメモリ容量：最大128 bits
- ・TID:96 bit, 48ビット

- 形状
  - ・寸法：140mm/75mm × 4mm
  - ・厚み：0.2mm（ICチップ厚1.4mm）
  - ・重さ：約 0.2g
- 材質・色
  - ・66ナイロン・ポリエステル・白
- 動作温度範囲
  - ・-40℃ to 85℃ / 露点時最大温度 65℃
- 耐熱性
  - ・オートクレーブ 134℃/2.3 Bar 100サイクル
- 耐久性
  - ・-50℃～150℃ 100サイクル（環境試験機）
- 耐薬品性
  - ・酸/アルカリ系洗剤・柔軟剤・漂白剤（洗浄工程に共通する化学物質）
- 洗濯耐性
  - ・家庭用洗濯機 100 サイクル
  - ・洋服向けクリーニング工程での耐性確認済み

・ミシンで縫い付け、衣類と一体化して使用可能

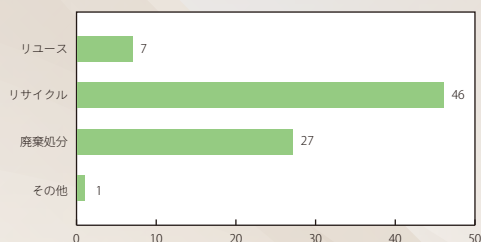


# 2024年度（令和6年度） nucの主な活動報告

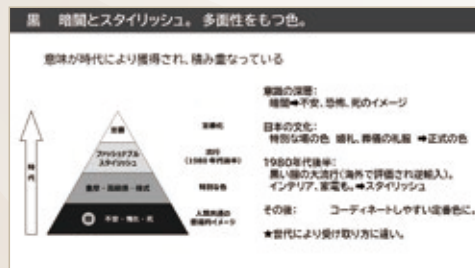
2024

5月 ユニフォーム業界のリサイクルに関する実態調査発表（合同調査）

回収後の取り組みについて



10月 第3回nuc定期セミナー開催「色の心理効果の変化とブランディングについて」



7月 第1回nuc定期セミナー開催「帽子のデザインや儀礼について」



令和6年度ユニフォーム専門資格認定制度〈初級〉講習会開催

8月 第2回nuc定期セミナー開催「縫製現場の現状や課題、人材育成と魅力的な工場への改革などを含めた今後の展望について」



2025

1月 令和7年 新年賀詞交歓会 開催



2月 第4回nuc定期セミナー開催「RFIDの基礎知識について」



情報誌 The UNIFORMの発行

季刊（年4回）

夏号：JR東海 技術シャツ、秋号：検疫官 制服、  
冬号：税関 制服、春号：大阪・関西万博 日本館



## 事務局ニュース

## Topics ▶ nuc会員 新規入会情報

この度、3社が新しく入会されました。入会にあたりメッセージを頂戴しておりますのでご紹介いたします。

普通会員

## 宇仁繊維株式会社

衣料向け生地企画/製造/販売をしております、宇仁繊維です。

これまで、婦人服地を接客系ユニフォーム向けに販売していましたが、ワークやメディカルなどの分野に進出するため、2023年、ユニフォーム向け生地を専門的に取り扱う部署をスタートさせました。宇仁繊維の小ロット・短納期・在庫販売をベースに、ファッション性と機能性・耐久性を併せ持った素材をご提案・ご提供しております。

生地ご検討の際は、お問い合わせ頂ければ幸いです。よろしくお願いします。

普通会員

## フェリック株式会社

弊社は2003年に設立しました。プリンタブルウェアの製造・販売・加工業務をして、主にカットソー中心に全国に販売をしている会社です。ユニフォーム・スポーツ・アパレル・物販などを主軸として営業をしております。企画商品においてはフル昇華プリントなどデザイン提案から受注しております。

2017年10月フェリック(株)は繊維専門商社の豊島株式会社のグループ企業に加わり素材・商品開発を背景にフェリック独自販路を生かして、商品の流通・多角化を進めております。NUC会員の皆様、宜しくお申し上げます。

普通会員

## 株式会社サンテイ

サンテイは、自社ユニフォームブランド「エバース」を発売。OEM事業のノウハウを生かし、高品質で洗練されたデザインを提供する。

第1弾はホテル向けで、Tシャツからジャケットまでのトータルレックを展開。撥水・防風機能を備えたアイテムも用意する。素材はイージーケアでかつ高級仕立てを使用し、一部リサイクル素材も活用。自社ECを中心に販売し、ODMや海外展開も視野に入れる。今後はレストラン向けユニフォームの展開を予定している。



## nuc 入会のご案内

nucでは入会を希望される方に当法人の設立趣意書や案内書をお送りいたします。事務局までお申し出下さい。

ユニフォームの生産および販売、服飾品、付属品関係およびユニフォームの関連商品の販売や研究者、また研究団体などにおすすめします。

ホームページアドレス <http://www.nuc.or.jp>

nucではホームページのバナー広告を募集しています。お問い合わせは事務局まで。

The UNIFORM 第57巻2号/春号 通巻606号

2025年3月31日発行

発行所 公益財団法人 日本ユニフォームセンター

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-4-21 電話03(3401)2111(代)

発行人 藪谷 典弘

編集担当 清水 徳子

企画・編集協力・印刷 (株)丸井工文社

定価630円 年間購読料2,380円(nuc会員の場合は、会費の中に購読料が含まれています)

本誌掲載の記事は、写真等無断複写、複製、転載を禁じます。

## ユニフォーム相談窓口

当法人では、ユニフォームに関するあらゆる諸問題におこたえるユニフォーム無料相談窓口を開設しています。

お気軽にお電話下さい。

03-3401-2111



# 植物由来の合成繊維が 多様な、製品づくりに応えます。



世界の人口やエネルギー消費量が急増し、  
地球温暖化や化石資源の枯渇など、  
地球をとりまく環境は、ますます深刻さを増しています。

東レグループは、  
植物由来合成繊維“ecodear”(エコディア)で、  
持続可能な低炭素社会の実現に向けて新たなソリューションを提供します。

東レGのバイオマス由来グリーンイノベーション素材・製品の事業ブランド

# ecodear

Plant-based Product Solutions

>>入場無料

# PANTEXTILES TOKYO 2025

日時:2025年5月14日(水)-5月15日(木) 午前10:00～午後5:00

会場:ベルサール渋谷ファースト地下1階展示ホール

(東京都渋谷区東1-2-20 住友不動産渋谷ファーストタワー地下1階)

- 最新の環境配慮素材と機能性素材
- コーヒー繊維、紙糸、シーウール、機能性ウール
- ダウン、樹脂ペレット、フィルム
- 織物、ニット、ニットデニム、インナーウェア生地
- 婦人服、ドレス、ソックス、ニット手袋と帽子などのOEM/ODM

主催: 紡拓会 台湾本部

☎ +886-2-23417251(担当:文) 内線2366

✉ takashiwen@textiles.org.tw

☎ +886-2-23917712

🌐 www.textiles.org.tw

 Taiwan



後援(50音順):

協同組合関西ファッション連合 / 東京スポーツ用品工業協同組合

一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会 / 日本繊維産業連盟 / 日本繊維輸入組合

日本被服工業組合連合会 / 日本紡績協会 / 一般社団法人日本メンズファッション協会

一般社団法人日本ユニフォーム協議会 / 公益財団法人日本ユニフォームセンター